

ブラジル日本商工会議所 2022年下期第3回フォーラム

2022年上期の振り返り並びに今後の展望

2022年8月31日
貿易部会

目次

- 貿易部会アンケート質問事項と結果 P- 3 ~ 6
- 貿易統計による考察：
 - ・ ブラジル貿易収支推移 P- 7
 - ・ ブラジル輸出入金額上位15品目22年上期及び20~22年の推移 P- 8 ~ 11
 - ・ 【考察①】ロシア及びベラルーシとの輸入取引の動向(22年度上期) P-12~15
 - ・ 【考察②】対日貿易動向(22年度上期) P-16
 - ・ 対ブラジル直接投資動向 P- 17
- 2022年下期を展望して注目すべき事柄 P- 18

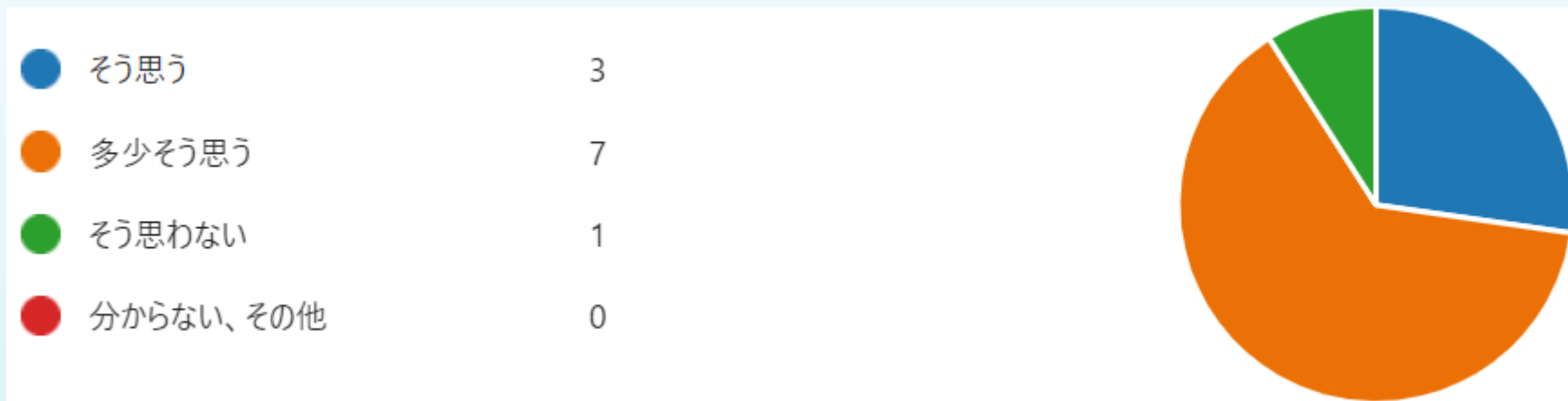
貿易部会 2022年部会長フォーラムに係るアンケート

副題「ウクライナ危機を経験し、ブラジル（及び南米）市場のビジネス環境変化を踏まえて各部会・業界の対応は？（地政学的に見たブラジル市場）」を踏まえ、下記質問項目を設定した。

1. ウクライナ危機の影響で、御社のビジネスに支障が出ていますか。
2. ウクライナ危機の影響に関連して、御社にとってビジネスチャンスが発生していますか。
3. ブラジルにおける貿易に関し、現在または今後、御社で特に注目する事項は何ですか。

貿易部会 2022年部会長フォーラムに係るアンケート

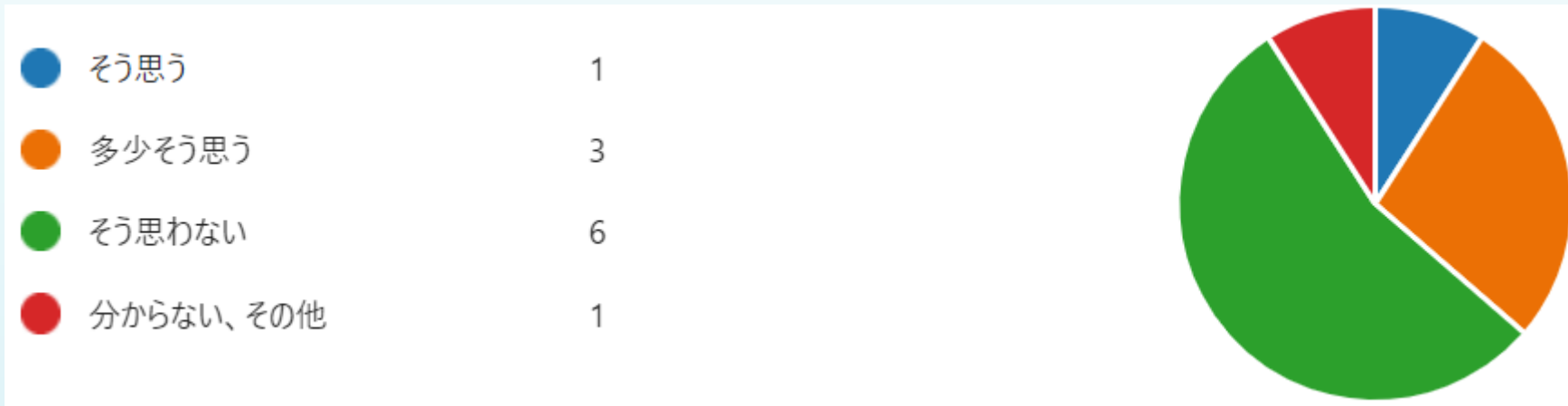
1. ウクライナ危機の影響で、御社のビジネスに支障が出ていますか。



- 価格高騰：原油、原材料、輸送、穀物、飼料、農薬、肥料 etc.
- 物流遅延
- 為替変動
- ロシア／ウクライナ産原料の供給不安定化
- ヨーロッパ工場の製造コストアップによる南米での価格競争力の低下
- 多くの農畜産物の価格変動により、モノの流れ変化

貿易部会 2022年部会長フォーラムに係るアンケート

2. ウクライナ危機の影響に関連して、御社にとってビジネスチャンスが発生していますか。

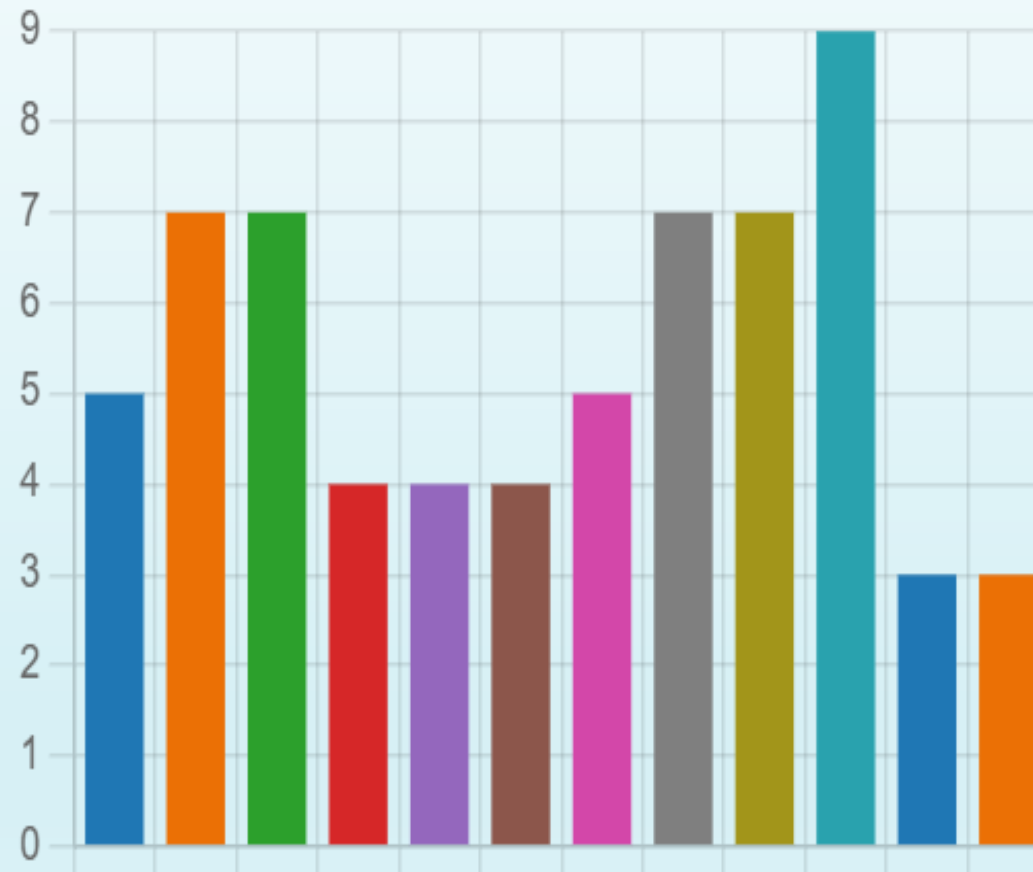


- 原材料について、南米からヨーロッパ等自社グループへの輸出の可能性
- EUで農畜産物の停滞・高騰により、南米からの輸出品に対する需要
- 欧州客先でロシア産パルプや木材の輸入制限のため、ブラジル品の代替需要
- ウクライナ・ロシアから輸入していた鉄鋼製品→ブラジルを輸入代替国として検討
- ブラジル・中南米の注目度が高まっている印象あるものの、グローバル化の毀損による機会逸失も大きい
- ネガティブな問題が圧倒的に多く、ビジネスチャンスはない

貿易部会 2022年部会長フォーラムに係るアンケート

3. ブラジルにおける貿易に関し、現在または今後、御社で特に注目する事項は何ですか。（複数回答可）

- ウクライナ危機に関し、関係各国の動向 5
- 米国の動向、政治経済状況 7
- 中国の動向、政治経済状況 7
- ヨーロッパ各国・EUの動向、政治経済状況 4
- 中南米諸国の動向、政治経済状況 4
- 中南米諸国や他地域との経済連携枠組み（EPA、FTA等） 4
- コモディティ価格変動 5
- ブラジル大統領選挙 7
- ブラジル経済政策 7
- ブラジル国内のインフレーション 9
- ブラジル外交 3
- その他 3

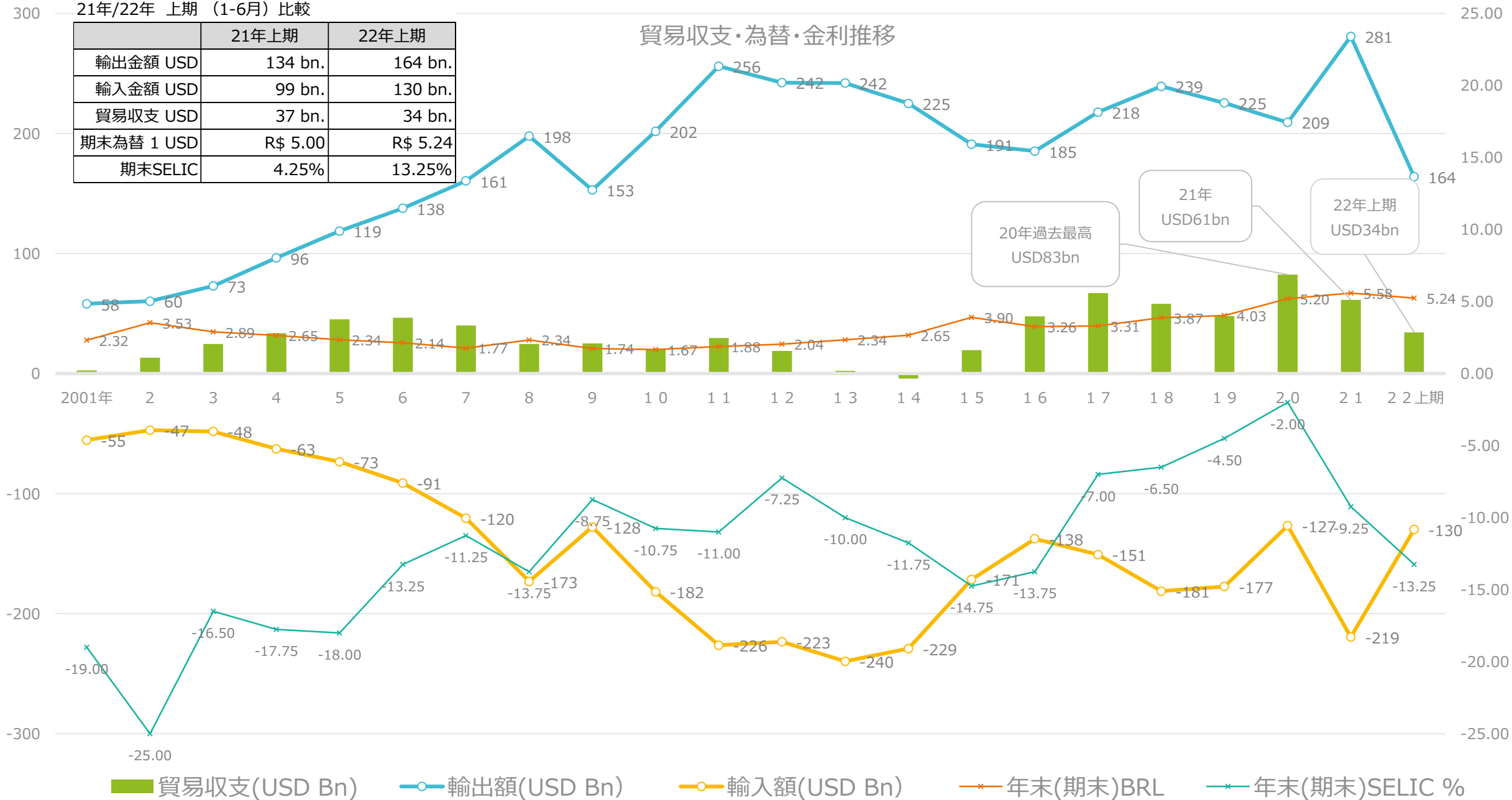


ブラジル貿易収支推移(2022年6月迄)

21年/22年 上期 (1-6月) 比較

	21年上期	22年上期
輸出金額 USD	134 bn.	164 bn.
輸入金額 USD	99 bn.	130 bn.
貿易収支 USD	37 bn.	34 bn.
期末為替 1 USD	R\$ 5.00	R\$ 5.24
期末SELIC	4.25%	13.25%

貿易収支・為替・金利推移



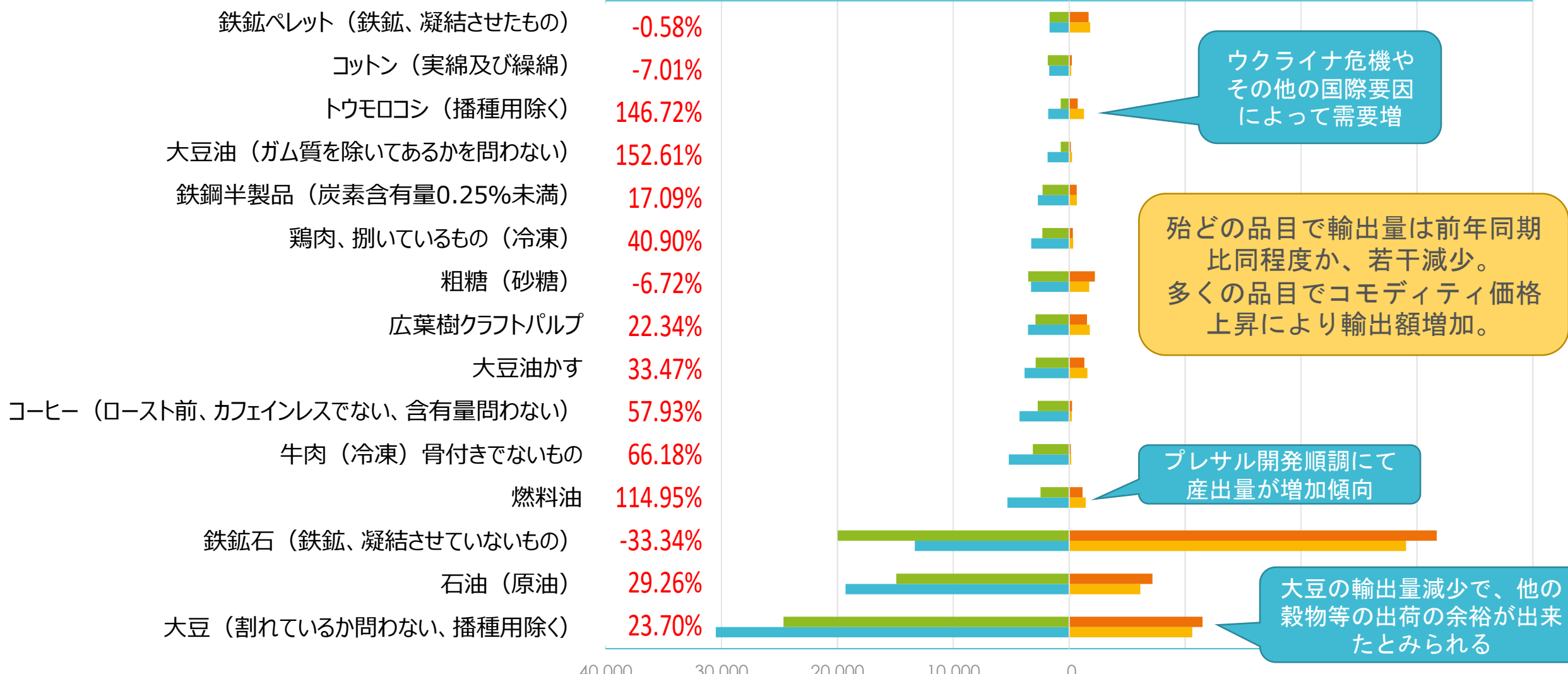
2022年1-6月 輸出品目Top 15・前年同期比

左：輸出額（USD百万）／右：輸出量（1000トン）

■ 2021年上期輸出額 ■ 2022年上期輸出額 ■ 2021年上期輸出量 ■ 2022年上期輸出量

21年→22年金額伸び率

0 50 000 100 000 150 000 200 000



ウクライナ危機やその他の国際要因によって需要増

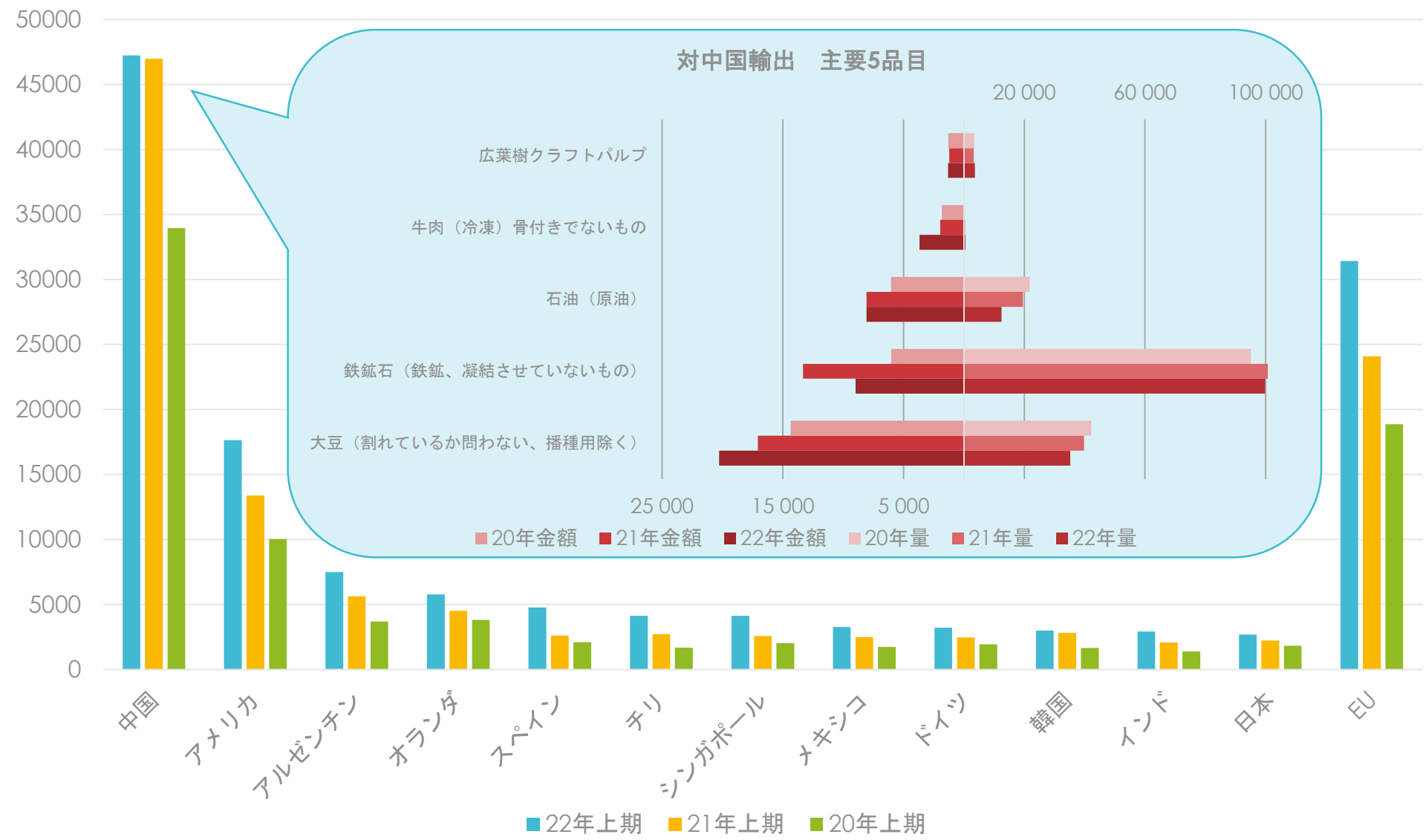
殆どの品目で輸出量は前年同期比同程度か、若干減少。多くの品目でコモディティ価格上昇により輸出額増加。

プレサル開発順調にて産出量が増加傾向

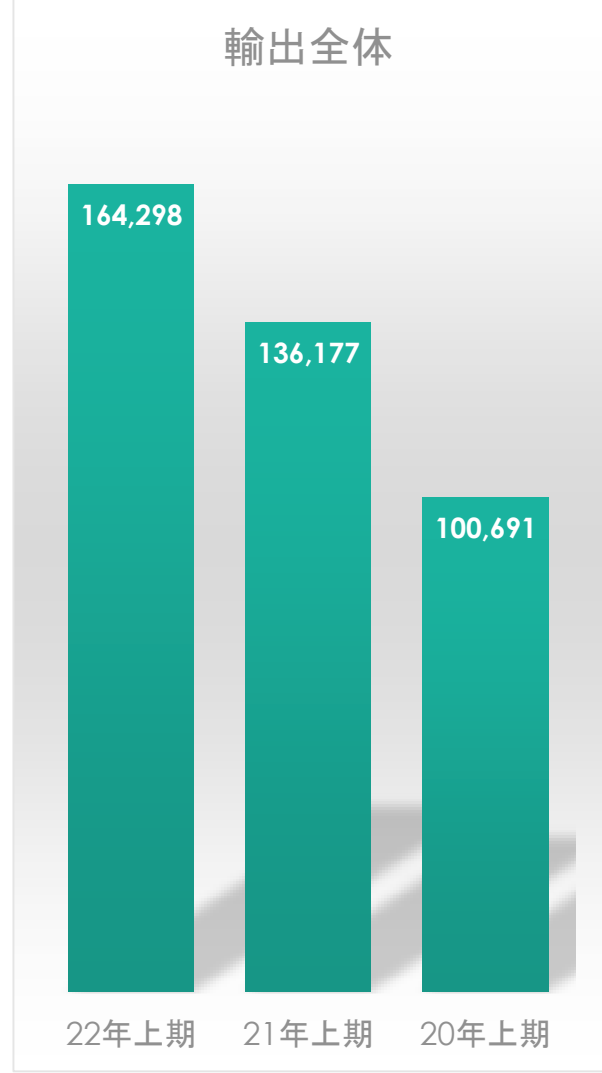
大豆の輸出量減少で、他の穀物等の出荷の余裕が出来たとみられる

輸出相手国 20年～22年上期 推移 金額 (USD百万)

輸出相手国 金額推移



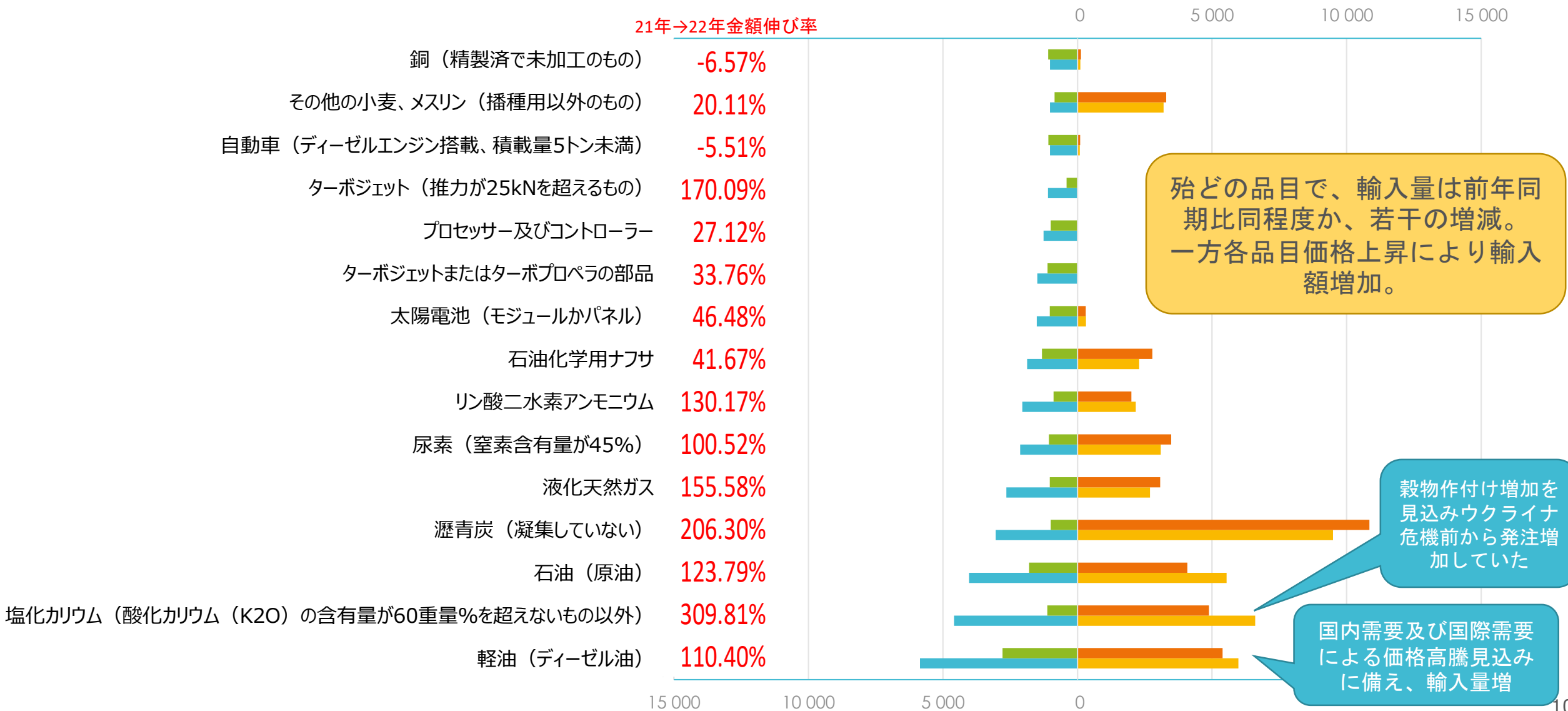
輸出全体



2022年1-6月 輸入品目Top 15・前年同期比

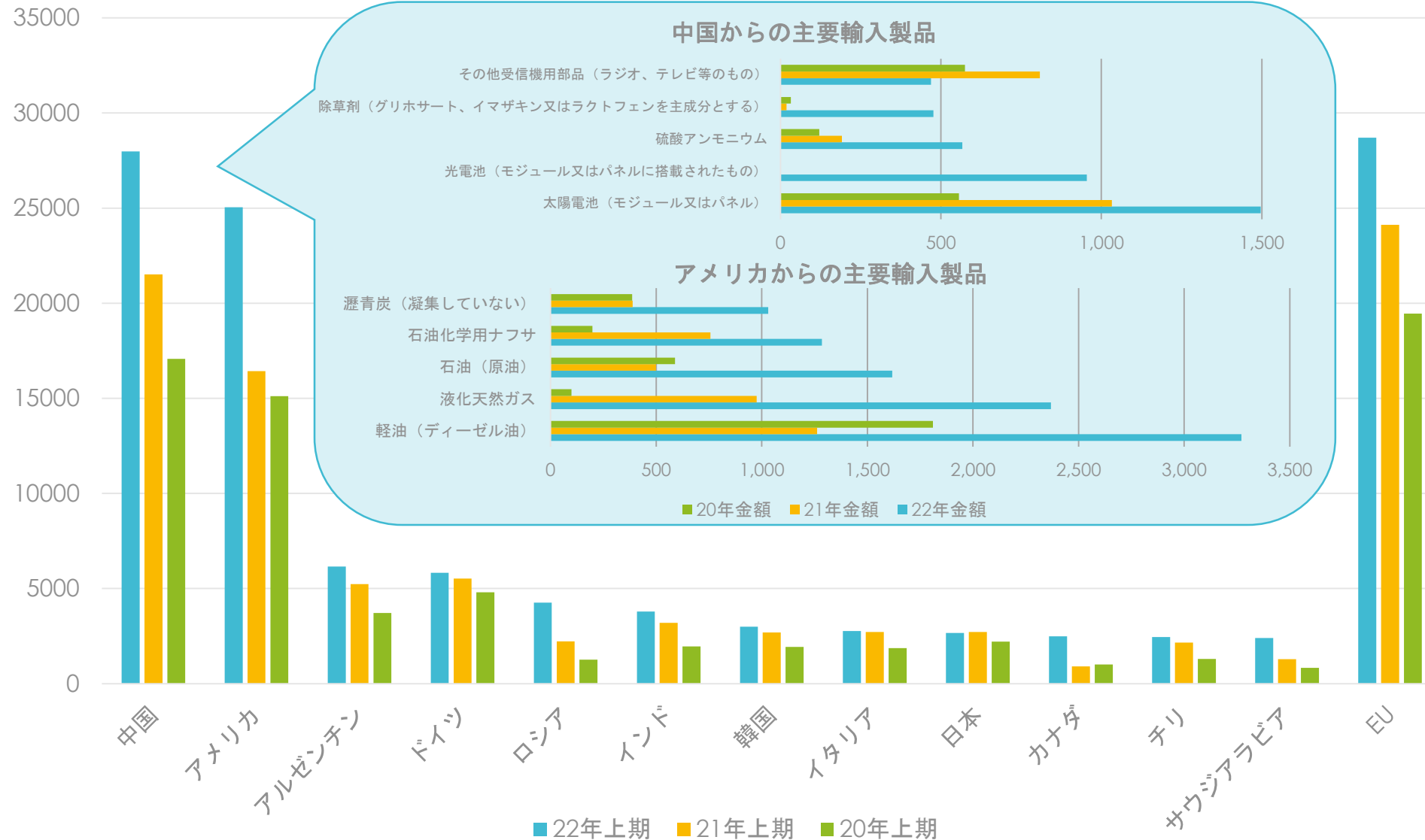
左：輸入額（USD百万）／右：輸入量（1000トン）

■ 2021年上期輸入額 ■ 2022年上期輸入額 ■ 2021年上期輸入量 ■ 2022年上期輸入量

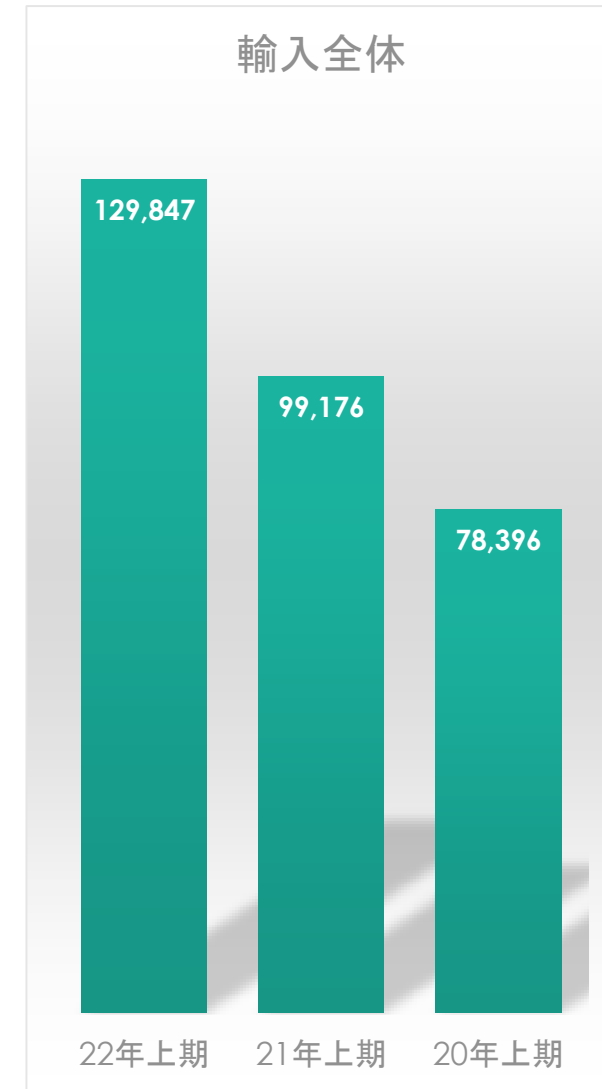


輸入相手国 20年～22年上期 推移 金額 (USD百万)

輸入相手国 金額推移



輸入全体



2022年1-6月、前年同期比 主要輸入品目において、ロシアあるいはベラルーシからの輸入額が顕著なもの 輸入額（USD百万）

輸入品目2位 塩化カリウム（酸化カリウム（K₂O）の含有量が60重量%を超えないもの以外）

総額 (百万USD)	2022年上期		2021年上期		2020年上期		
	金額	全体比	金額	全体比	金額	全体比	
	2022年上期	全体比	2021年上期	全体比	2020年上期	全体比	
	金額		前年比		2021年上期		
	順位	国名	金額	全体比	伸び率	金額	全体比
	1	カナダ	1,687.18	36.77%	461.10%	300.69	26.86%
	2	ロシア	1,547.26	33.72%	340.70%	351.09	31.36%
	3	イスラエル	428.15	9.33%	601.10%	61.07	5.45%
	4	ドイツ	366.11	7.98%	179.52%	130.98	11.70%
	5	ベラルーシ	306.22	6.67%	28.44%	238.41	21.29%
	6	スペイン	114.03	2.49%	-	0.00	-
	7	ヨルダン	67.82	1.48%	365.71%	14.56	1.30%
	8	チリ	65.59	1.43%	189.43%	22.66	2.02%
	9	マレーシア	5.27	0.11%	-	0.00	-
	10	ボリビア	0.57	0.01%	1958.24%	0.03	0.00%

輸入品目4位 瀝青炭（凝集していない）

総額 (百万USD)	2022年上期		2021年上期		2020年上期		
	金額	全体比	金額	全体比	金額	全体比	
	2022年上期	全体比	2021年上期	全体比	2020年上期	全体比	
	金額		前年比		2021年上期		
	順位	国名	金額	全体比	伸び率	金額	全体比
	1	オーストラリア	1,228.31	40.42%	390.16%	250.60	25.26%
	2	アメリカ	1,030.44	33.91%	165.70%	387.82	39.09%
	3	コロンビア	377.80	12.43%	112.24%	178.00	17.94%
	4	ロシア	334.48	11.01%	121.02%	151.34	15.25%
	5	南アフリカ	30.44	1.00%	-	0.00	-
	6	カナダ	25.12	0.83%	51.65%	16.57	1.67%
	7	カザフスタン	12.14	0.40%	168.40%	4.52	0.46%
	8	アルゼンチン	0.06	0.00%	-26.10%	0.08	0.01%
	9	スイス	0.00	-	-100.00%	3.18	0.32%
	10	モザンビーク	0.00	-	-	0.00	-

2022年1-6月、前年同期比 主要輸入品目において、ロシアあるいはベラルーシからの輸入額が顕著なもの 輸入額（USD百万）

輸入品目6位 尿素（窒素含有量が45%）

総額 (百万USD)	2022年上期		前年比		2021年上期	
	金額	全体比	伸び率	金額	全体比	
	金額	全体比	伸び率	金額	全体比	
	2022年上期	2,131.46				
	2021年上期	1,062.96				
	2020年上期	683.46				
金額 順位	国名	2022年上期 金額	全体比	前年比 伸び率	2021年上期 金額	全体比
1	オマーン	506.84	23.78%	142.40%	209.09	19.67%
2	ナイジェリア	447.15	20.98%	522.58%	71.82	6.76%
3	カタール	398.58	18.70%	38.74%	287.28	27.03%
4	ロシア	301.00	14.12%	32.63%	226.95	21.35%
5	アルジェリア	201.45	9.45%	93.22%	104.26	9.81%
6	ベネズエラ	68.98	3.24%	320.36%	16.41	1.54%
7	ボリビア	61.18	2.87%	-	0.00	-
8	サウジアラビア	48.50	2.28%	369.77%	10.32	0.97%
9	ドイツ	37.42	1.76%	205.85%	12.24	1.15%
10	バーレーン	32.91	1.54%	67.14%	19.69	1.85%

輸入品目7位 リン酸二水素アンモニウム

総額 (百万USD)	2022年上期		前年比		2021年上期	
	金額	全体比	伸び率	金額	全体比	
	金額	全体比	伸び率	金額	全体比	
	2022年上期	2,054.64				
	2021年上期	892.65				
	2020年上期	652.13				
金額 順位	国名	2022年上期 金額	全体比	前年比 伸び率	2021年上期 金額	全体比
1	ロシア	918.11	44.68%	143.98%	376.30	18.31%
2	モロッコ	613.83	29.88%	108.24%	294.76	14.35%
3	サウジアラビア	265.53	12.92%	111.64%	125.47	6.11%
4	アメリカ	133.39	6.49%	261.64%	36.89	1.80%
5	中国	84.41	4.11%	219.74%	26.40	1.28%
6	オーストラリア	35.00	1.70%	-	0.00	-
7	リトアニア	4.32	0.21%	-	0.00	-
8	ベルギー	0.05	-	-87.84%	0.39	0.02%
9	スペイン	0.00	-	-	0.00	-
10	メキシコ	0.00	-	-99.07%	0.00	-

2022年1-6月
ロシアあるいはベラルーシからの輸入品目 Top 10 ・ 前年同期比
輸入額（USD百万）／輸入量（1000トン）

順位	輸入品目	輸入国	2022年上期 金額	2021年上期 金額	2022年上期 数量	2021年上期 数量	輸入量伸び率 前年同期比
1	塩化カリウム	ロシア	1,547	351	1,934	1,523	27.02%
2	リン酸二水素アンモニウム	ロシア	918	376	1,005	815	23.31%
3	鉱物性または化学性肥料 （窒素、リン、カリウムの三大肥料を含む）	ロシア	371	89	668	314	113.11%
4	瀝青炭（凝集していない）	ロシア	334	151	1,350	1,817	-25.71%
5	塩化カリウム	ベラルーシ	306	238	950	1,132	-16.10%
6	尿素（窒素含有量が45%）	ロシア	301	227	488	769	-36.56%
7	石油化学用ナフサ	ロシア	208	62	264	148	78.32%
8	無煙炭（凝縮していない）	ロシア	148	29	531	313	69.44%
9	硝酸アンモニウム（水溶液であるか否かを問わない）	ロシア	76	117	156	549	-71.62%
10	硫黄（昇華硫黄、沈降硫黄及びコロイド硫黄を除く。）	ロシア	25	5	79	46	73.95%

* 輸入相手国全体の中では、22年上期でロシアは5位の輸入金額。21年同期では11位だった。
 全体の輸入額が約2倍に増えた一方、殆どは各品目の価格上昇によるもの。

21年・22年1-6月
 ロシア/ベラルーシからの「塩化カリウム」(SH:310420) 輸入比較
 輸入額 (1,000 USD)

輸入国	輸出国		1月	2月	3月	4月	5月	6月
日本	ロシア	2021年	673	1,200	1,972	1,970	2,386	1,775
		2022年	0	1,421	0	0	0	0
	ベラルーシ	2021年	51	660	542	1,233	988	1,071
		2022年	0	0	0	0	0	0
ブラジル	ロシア	2021年	52,402	63,805	47,946	51,549	57,780	77,783
		2022年	156,778	103,450	185,979	287,464	440,743	373,419
	ベラルーシ	2021年	37,980	38,094	41,101	38,903	35,748	46,587
		2022年	50,968	55,339	64,253	30,110	39,202	66,348

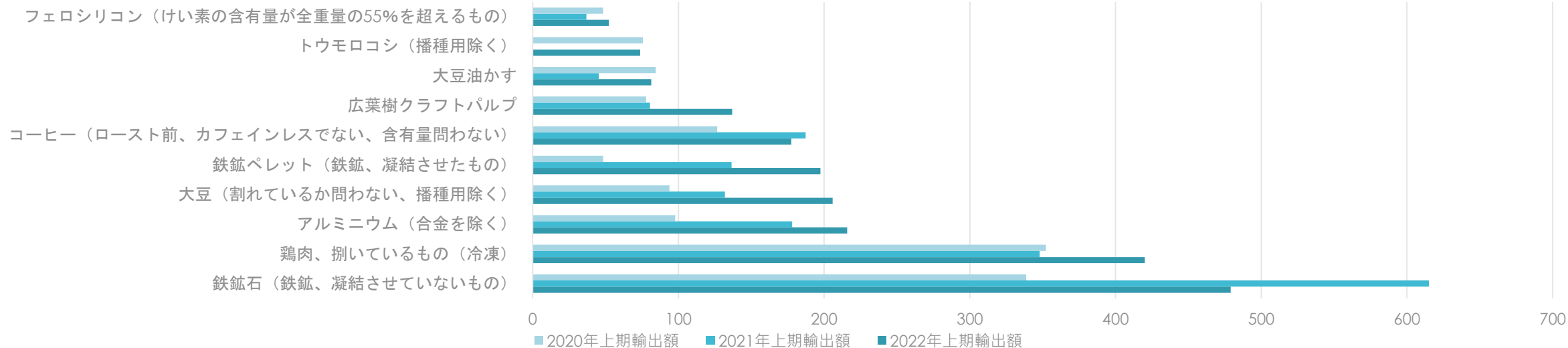
日本ではウクライナ危機以降、輸入出来ていないと見られる。

ブラジルではウクライナ危機前から、穀物の作付け増加を見込んで発注が増加していた。発注済分が22年になって到着しており、前年同期比増加。

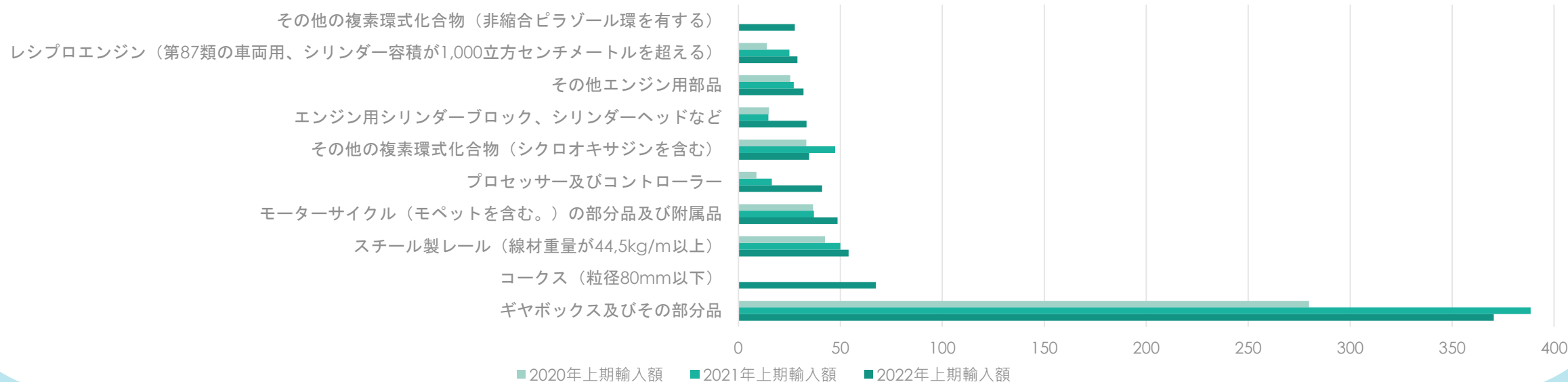
今のところ輸入出来ているものの、今後需要逼迫・価格高騰・物流障害等の影響でペースが落ちていくと考えられている一方、7月にロシアのプーチン大統領はブラジル向け肥料供給の継続を明示している。

20～22年1-6月：日本との貿易 輸出/輸入金額推移 (USD百万)

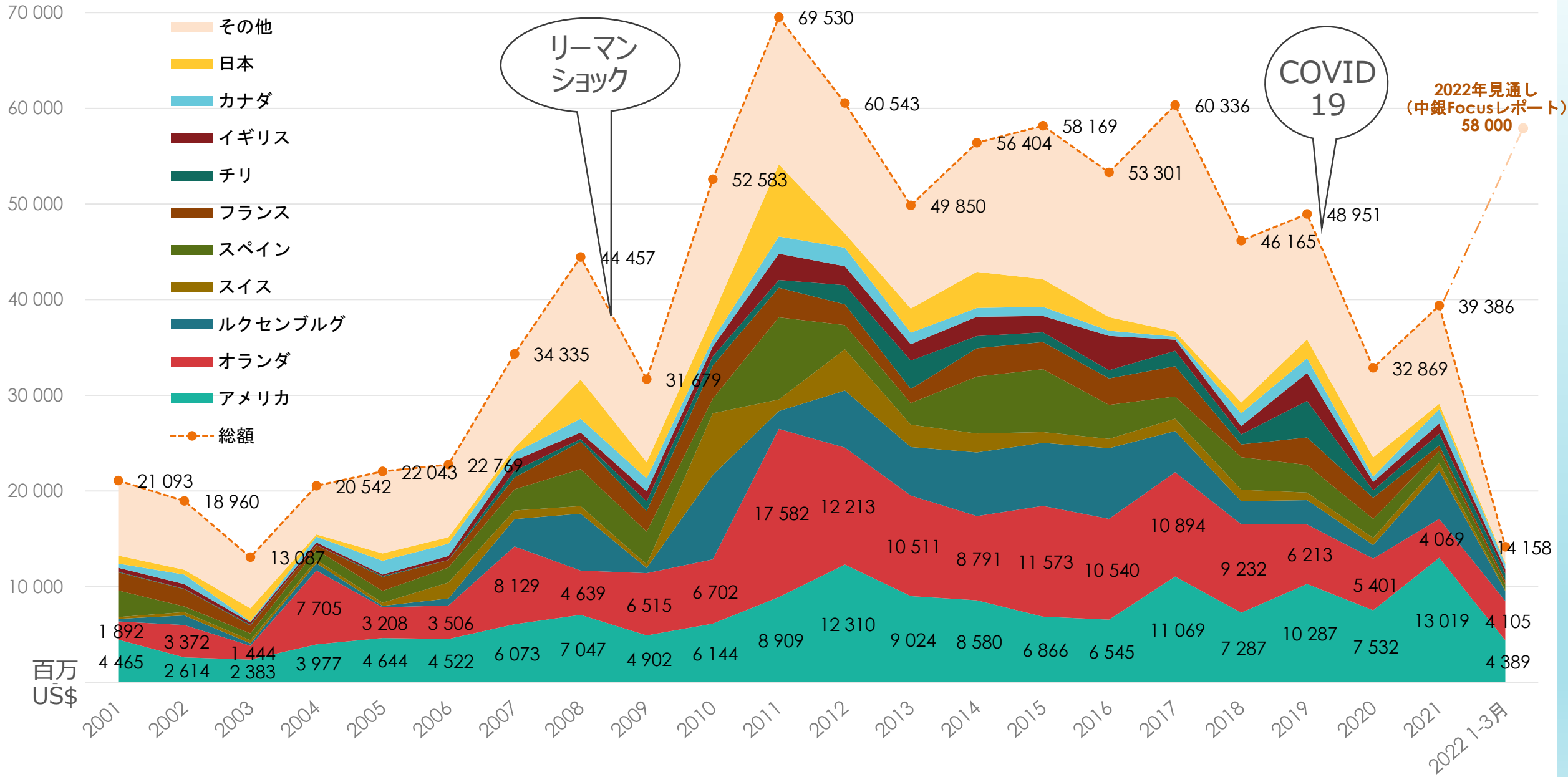
輸出 (ブラジル→日本)



輸入 (日本→ブラジル)



対ブラジル直接投資動向(2022年3月迄/見通し)



2022年下期を展望して注目すべき事柄

国際地政学・分断の進行・気候変動

ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、対ロシア
経済制裁の長期化
台湾をめぐる米中摩擦(米中貿易協議)
中国共産党大会(習近平長期政権)
米国中間選挙(続:バイデンvsトランプ)
日本の外交政策(米国・中国・ロシア)の鮮明化
各国・各地域のエネルギー政策(脱炭素の行方・
スピード感)

各国・地域の経済政策と動向

インフレ・景気後退の同時進行による世界同時
不況の可能性
各国経済政策 大規模緩和→金融引締め^の進行度
金利動向、為替動向
原材料高、国際物流混乱の緩和・収束スピード
新型コロナ流行の今後の展開と影響度、中国
ゼロコロナ政策の行く末

ブラジル大統領選挙と新政権政策、インフレ封じ込め策
の成否、財政懸念、レアル為替、環境政策
コロンビア、ペトロ新政権の政策
国際サプライチェーンの環境変化下における中南米地域
の存在感、経済連携・貿易協定協議の進捗
域内左派政権による保護主義的政策

ブラジル及び中南米の政治・経済

想定外の変化に対応する柔軟性、潮目を見極める感度、情報収集がますます重要に。